

高等学校 地理歴史科

歴史総合

学習プリント

高等学校学習指導要領（平成30年告示）準拠

— 解答入り版 —

【 】の中が答え。赤い下じきを当てると消えるので、くり返し確認できる。
「発展」のついた内容は、共通テストの範囲をこえる発展的な内容。

目次

■ A 歴史の扉

- 第1章 歴史と私たち
- 第2章 歴史の特質と資料

■ B 近代化と私たち

- 第3章 近代化への問い
- 第4章 18世紀のアジアと日本 ―生産と流通―
- 第5章 結び付く世界 ―アジア域内貿易と欧米との貿易―
- 第6章 産業革命と交通・通信手段の革新
- 第7章 中国の開港 ―アヘン戦争とアロー戦争―
- 第8章 日本の開国と幕末の動乱
- 第9章 工業化と世界市場の形成
- 第10章 欧米の市民革命と国民国家の形成
- 第11章 明治維新と近代国家の建設
- 第12章 大日本帝国憲法と立憲体制
- 第13章 国境の画定と近隣諸国との関係
- 第14章 列強の帝国主義政策と植民地の形成
- 第15章 日清戦争・日露戦争とアジア諸国の変容
- 第16章 日本の産業革命と社会の変容
- 第17章 【探究】近代化と現代的な諸課題

■ C 国際秩序の変化や大衆化と私たち

- 第18章 国際秩序の変化や大衆化への問い
- 第19章 第一次世界大戦と総力戦
- 第20章 ロシア革命とソヴィエト連邦 / アメリカ合衆国の台頭
- 第21章 ヴェルサイユ・ワシントン体制と国際連盟
- 第22章 アジアのナショナリズムの動向
- 第23章 大正デモクラシーと政党政治
- 第24章 大衆社会の形成と社会運動の広がり
- 第25章 世界恐慌とブロック経済 / 昭和恐慌
- 第26章 ファシズムの伸張と国際協調体制の動揺
- 第27章 満州事変から日中戦争へ
- 第28章 第二次世界大戦と太平洋戦争
- 第29章 国際連合と国際経済体制 / 冷戦の始まり
- 第30章 占領下の戦後改革と日本国憲法の制定
- 第31章 平和条約と日本の独立の回復
- 第32章 【探究】国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題

■ D グローバル化と私たち

- 第33章 グローバル化への問い
- 第34章 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国
- 第35章 冷戦下の地域紛争と核兵器の管理
- 第36章 地域連携の形成と計画経済の波及
- 第37章 日本の高度経済成長と社会の変化
- 第38章 石油危機と世界経済の転換
- 第39章 アジア諸地域の経済発展と市場開放・経済の自由化
- 第40章 情報通信技術の発展と市場経済の変容
- 第41章 冷戦の終結と民主化の進展
- 第42章 地域統合の拡大と地域紛争の拡散

第43章 冷戦終結後の日本と世界

第44章 【探究】現代的な諸課題の形成と展望

■ 巻末資料

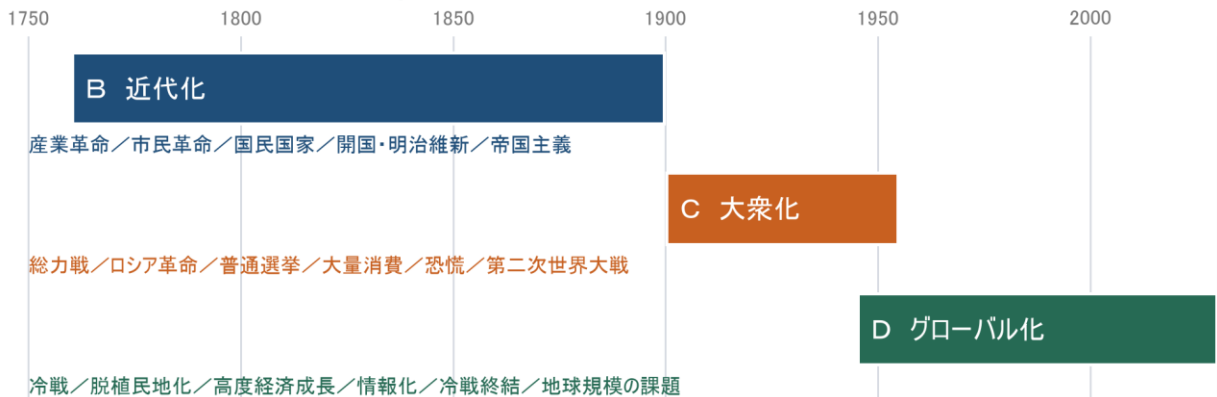
巻末資料① 歴史総合 年表（世界と日本）

巻末資料② おもな条約・会議一覧

巻末資料③ 用語チェック100

第1章 歴史と私たち

「歴史総合」がとらえる三つの転換



※三つの時期は重なり合う。「大衆化」は近代化の結果として現れ、「グローバル化」は冷戦のただ中で始まった。

※Cの終わりを1950年代前半に置くのは、日本の独立回復(1952)までをCで扱う学習指導要領の区分による。

■ 1. 「歴史総合」がとらえる三つの転換

「歴史総合」は、近代以降の世界と日本を、次の三つの大きな【転換】としてとらえる。

・三つはそのままB・C・Dの大項目に対応する。

◆①近代化（18世紀後半～19世紀末）

- ・産業革命→【機械】による大量生産が始まる。
- ・市民革命→【国民国家】の誕生。
- ・交通・通信の発達で、世界が一つの【世界市場】に結び付く。
- ・日本もその流れのなかで開国し、明治維新をむかえた。

◆②大衆化（20世紀前半）

- ・二度の【総力戦】を経て、政治から排除されていた【大衆】（労働者・女性・植民地の人々）が発言力をもつ。
- ・【普通選挙】とマスメディアの発達がその象徴。
- ・同時に、大衆の支持を背景とする独裁が生まれる危うさも現れた。

◆③グローバル化（20世紀後半～現在）

- ・冷戦という対立をかかえながら、人・もの・資本・情報が【国境をこえて】大規模に移動。
- ・冷戦の終結後、その動きはいっそう加速。
- ・地域紛争・格差・環境問題といった課題も地球規模になった。

■ 2. 身近なものから歴史へ

「歴史総合」の学習は、身のまわりのものごとの由来をたずねるところから始まる。

◆時間と暦

- ・【太陽暦】（グレゴリオ暦）…日本は【1872】年（明治5年）に太陰太陽暦から改暦。明治5年12月3日を明治6年【1月1日】とした。欧米と時間の物差しをそろえる【近代化】の一環。
- ・【時刻】…定時法の導入と鉄道の開通（1872年）が、「分単位で動く」生活をもたらす。
- ・【元号】…日本は【一世一元】の制（1868年～）。西暦・世紀と相互に変換できるようにしておくこと。

◆学校・仕事・家族

- ・週休制、時間割、制服、教科書…いずれも近代の【学校教育】の産物。
- ・「サラリーマン」「専業主婦」という働き方・家族像…【工業化】と【都市化】のなかで20世紀に広まったもの。